

自由経済システムと自由貿易

黒田インターナショナルファンデーション

黒田 毅

アメーバのようにその需要と必要性への充足と進歩を与える、この自由経済と貿易システムは、自由という制限のない活動が、その進歩と供給を充足させる。その対価は富の占有である。

これら西洋における社会進歩と社会学に基盤する、自由主義という現実が、そのコアコンピタンスと社会進歩を両輪において有する。

この矛盾は、世界の所有という現実である。

このメビウスリングは、必ず自己崩壊を与えるはずである。この諸刃の剣は、社会的弱者という存在を与えるからである。

世界を奪うのは、必ずその落伍者なのである。

これは平等性と人道性という、理想が真実を有することを証明する。これは社会的弱者への救済システムが、その維持永続へ要求されると証明する。

これは西洋的価値観から、東洋的価値観への展開は現実において存在し得ることを証明する。

これは文明のシフトでなく、世界の要求に対する現実の合致という真実である。

来るべき未来文明という現実は、人類へ選択を必ず要求する。ゲッセマネのドアを通ることが、未来へ通じるのである。

自由経済システムは、自己の自立における参加が原則であり、勝利者達がこれを有する。

戦争が過去を支配し、新しい競争原理という戦場は、永遠という現実の所有を模索するのである。